

議会だより

第12号

第2回6月定例会

平成28年第2回(6月)定例会が6月14日開催され、報告1件、人事案件2件、28年度各会計補正予算3件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決されました。

一般質問には、5名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

「産業推進機構」いよいよ動き出す

村長諸般の報告

○長寿者祝金の贈呈

溝口サエさん(里坊)が、6月1日、満百歳を迎えられ水上村長寿者祝金支給条例の適用により、長寿者祝金を贈呈。

○産業推進機構事業

6月28日、産業推進機構が発足する。今後の農林業や商工業の連携による六次産業化の推進に努める。

○「桜寿苑」開設25周年

高齢者福祉センター「桜寿苑」が平成3年7月1日の業務開始から、本年6月30日で25周年の節目を迎え利用者等へ記念タオルを配布。



○熊本地震被災地自治体への行政人的支援

熊本県及び熊本県町村会の要請に基づき、前回は4月29日から5月13日までの13日間、宇城市と御船町へ毎日各々2名で延べ52名が緊急支援にあたった。今回は、6月1日から6月30日まで南阿蘇村へ職員2名1組、2泊3日のローリングで派遣し、農地の被災状況調査業務で復旧・復興支援にあたっている。

○九州北部、南部地方の梅雨入り

6月4日、九州北部、南部地方ともに平年より一日早い梅雨入りの発表が行われ、7月中旬以降は大雨と気温の高温化が予想されている。本年の水上村防災計画の結果を踏まえ、今後の気象情報に細心の注意をはらい関係機関との連携を図り、万全の体制を期したい。

人事案件

○人権擁護委員候補者の推薦について

山中泰久氏（平谷）^{やすひさ}についての諮問があり、諮問のとおり賛成しました。

○水上村固定資産評価員の選任同意について

橋本美樹夫氏（税務住民課長）を選任することに同意しました。

予算

○平成28年度水上村一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に2,380万円を追加し、総額を36億1,180万円とするものです。歳出の主なもの、高齢者等タクシー利用料助成金1,550万円、産業担い手支援補助金250万円、災害用備蓄消耗品250万円などを追加計上しました。

○平成28年度水上村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
歳入歳出予算の総額に37万6,000円を追加し、総額を4億837万6,000円とするものです。

報告

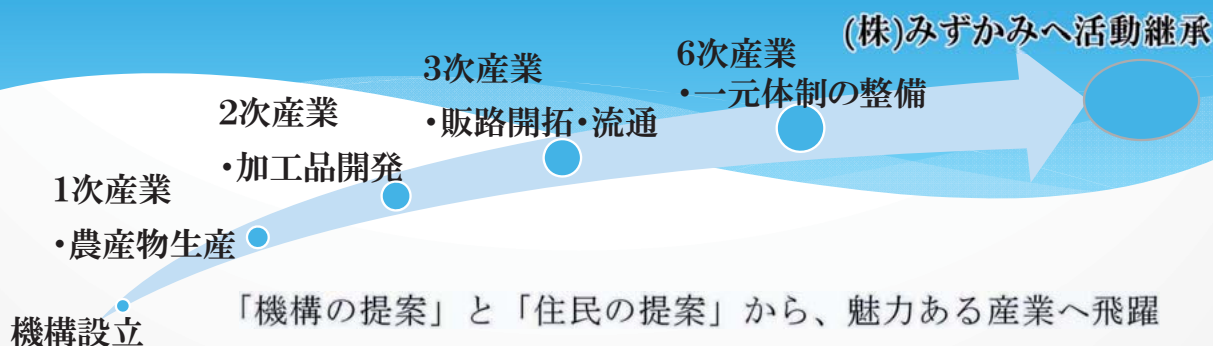
○平成27年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

その他

○議員派遣の件

○継続審査申出書

産業推進機構が産み出す みずかみ村の産業改革！



議会を傍聴してみませんか 次回の定例議会は**9月**です
（手続は住所・氏名を書くだけです） 詳しくは議会事務局Tel 44-0319 まで

一般質問

考えを質す！

Q

水上村消防団役員 人事決定は

A

消防団条例により 村長が任用



那須 正弘 議員

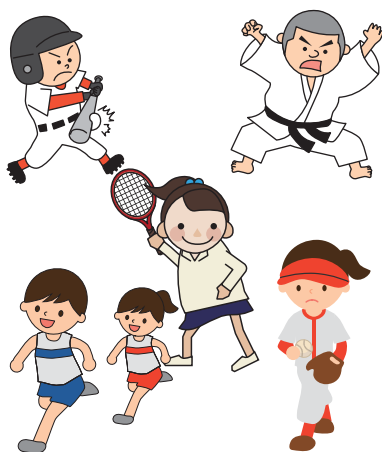
問 消防団本部役員の決定、最終承認の方法は。

答 蔵座総務課長 水上村消防団の定員・任命・給与・

服務に関する条例の第3条に消防団長という項目があり、団長は消防団の推薦に基づき村長が任用するとなっている。

問 団長人事の承認について、不承認も可能か。

答 中嶽村長 恣意的な考え、予断を持たずにやるのが重要。幹部会の意見を尊重する。



Q

中学校の部活動は学業に 支障を及ぼしていないか

A

支障があれば練習停止もある

問 中学校の部活動は、学校体育か社会体育か。また

学校教師主体の部活動に移行すべきでは。

答 西野教育長 部活動は学校の管理下で、放課後など

同校の生徒が集まって自主自発的に行う学校体育である。指導は主に教職員が当たるが、部によつては技術的な指導が不得手な面があり、地域の方にコーチをお願いしている。コーチは学校長の責任のもと委嘱し、教職員と連携をとって指導にあたる。

ている。

問 生徒の将来性を重視した学力向上主体に取り組むべきでは。

答 西野教育長 運動部活動の規定では、延長練習の時間

や期間が定めてあり、学業に支障があれば練習停止もある。さらに、きちんとフォローするよう学校長等にも指導していきたい。

Q

個人住宅の耐震診断への対応は

A

補助金制度を検討



小野 頼年 議員

問 熊本地震による市房ダムへの影響は。また震度6

程度の地震が発生した場合の危険箇所や市房山崩壊の懸念は。

答 中嶽村長 市房ダムへの影響は、県からの連絡や

情報はきていない。危険箇所については、急峻な地形がある江代地区全般と岩野地区の山間部が特に注意する箇所だと思つ

市房山に関しては、国土交通省や地震工学者に被害が想定されるか聞いてみる。

問 備蓄品は家庭で備えるものもあると思うが、行政での備えは。

答 蔵座総務課長 現在、毛布110枚、防災敷マッ

ト50枚、パーティションが25世帯分ある。今後、毛布400枚、防災敷マット200枚、保存水200人の2日分、乾パン200食の3回の2日分、災害用トイレなどの追加整備を行いたい。住民の約1割を備蓄品

の基礎としている。

要望

財政的な問題もあると思うが、5割程度を目標にしてほしい。

問 地震後に各施設のホームインスペクション（建築

診断）はなされたか。また個人住宅の耐震診断への助成は。

村内の外灯設置状況及び道路の反射盤整備は

A

外灯は予算の範囲内で設置し、反射盤整備は県へ要望

問 外灯設置要望の状況は。

答 蔵座総務課長 現在475基あり、毎年の要望に

より予算の範囲内で設置している。

問 道路のセンターライン上に埋め込まれている固い

反射盤を、ゴム製で安全性のあ

答 中嶽村長 地震後、目視だけで行っている。必要性があれば専門家による検査を実施する。

答 蔵座総務課長 人吉球磨では、あさぎり町と多良

木町に耐震診断の補助金制度がある。本村でも交付要綱の制定を考えていきたい。

るものへ交換を検討しては。

答 堤田建設課長 国道、県道は県が管理しているのでその点も併せて要望していく。

その他の質問事項

○一般質問後の対応は

Q

小学校教室へのエアコン 早期設置を

A

設置に向け、計画的に進める



荒嶽 晋 議員

問 今年は過去に例を見ない暑い夏と予測されている。児童達の学習環境と暑さ対策のためにエアコンが必要だと思うが、現在の状況及び設置の考えは。

答 甲斐教育課長 岩野小は、1年から6年教室、なか

よし学級教室を含む11教室は未設置。湯山小は、たんぽぽ教室、1年から4年教室を含む9教室が未設置である。中学校は、平成25年度に設置を完了しており小学校へのエアコン設置も計画していたが、東日本大震災以降、学校施設の耐震化に重きが置かれたため、計画を延ばさざるを得なかった経緯がある。教育委員会も学習環境の改善は必要であると考えている。補助金などの財源を使って計画的に整備を進めていく。

答 中嶽村長 将来の村を担う人づくりの中で、重要な問題として捉えている。29年

度の概算要求に向けて、きちんとした予算要求を行っていく。

Q

村道覚井・本野線の国道への 接続判断はいつまでに

A

今年度を目途に決定したい

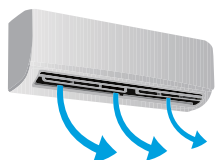
問 村道覚井・本野線の国道への接続計画の進捗状況は。

答 堤田建設課長 当初、村として考えていた計画は

地権者の同意が得られず、別案を計画した。地権者と協議をし了解は得られたが、ハウス移転・代替地等の問題は残っている。

問 計画の進捗状況を住民に説明し、再度問いかける必要があるのでは。また、常楽酒造跡地の活用法はいつまでに判断をするのか。

答 中嶽村長 現在、計画はかなり厳しい状況にあり、早急に覚井区・本野区の会合等



で住民に問いかけ意見を聞き、今年度を目途に判断したい。その後、常楽跡地を定住促進の土地として考えていきたい。

Q

熊本地震に伴う観光関連産業の復興策は

A

復興割を含めた誘客対策を県へ要望



山崎 隆浩 議員

問 震災後の本村観光関連産業の現状は。

答 田島産業振興課長 4月15日から5月31日までの調査で、宿泊が前年比694人減で62%のキャンセル、元湯は575人の減少、間接的な被害を含めると相当額の被害になる。

問 九州観光支援旅行券事業（復興割）では、旅行代理店加盟施設の予約システムが対応予定となっているが、本村の加盟していない宿泊施設が制度を利用するための対策は。

答 田島産業振興課長 旅行券事業について詳細な情報はつかめていないが、県より全体的にいきわたるよう調整すると返答をいただいている。また、JR九州と人吉球磨のツアー計画も進めている。

答 中嶽村長 観光客が減少することによる誘客対策を、被害のない地域も対象になるよう町村会から県へ要望している。

問 復興支援は義援金以外の支援策も検討しているか。

答 中嶽村長 臨時議会において、500万円の予算

を計上している。「みんなの家」が60棟ほど整備されるので、この施設に主眼をおいた支援を考えている。

Q

産業推進機構の役割は

A

村内産業を連携させた事業展開をはかる

問 現在の進捗状況は。

答 田島産業振興課長 住民代表・株式会社みずかみ・

役場職員による20名以内の委員で構成し、6月28日に発足式を予定している。地域おこし協力隊1名が8月1日に着任予定で、産業振興課内に籍を置いて地域を知る活動に励んでいただく。また、猪・鹿肉を有効活用するためにジビエ生肉処理加工施設的设计ならびに、竹林再生のため筍生産者と実演を兼ねたウッドチップの導入を計画している。

問 地域おこし協力隊、株式会社みずかみ、観光協会の連携また組織計画は。

答 田島産業振興課長 産業推進機構の三本柱、商品作り・販路拡大・情報発信を株式会社みずかみと観光協会が連携して取り組み、事業展開していくことを望んでいる。

答 中嶽村長 株式会社みずかみ、観光協会、地域おこし協力隊、出荷協議会、旅館組合すべて連動させ事業展開をはかっていく。

Q

災害に対する防災対策は

A

総合防災情報システムを有効活用し、安全性を確保する



米良 哲 議員

問 地震などの災害に対して初動体制が非常に困難になることが予想される。行政区の自主防災組織の現状は。

答 中嶽村長 平成18年4月1日付けで、17の行政区で自主防災組織が結成されている。残りの4行政区においては、人口等の問題で組織化されていない。

要望 どれだけ機能しているか、ただ名前だけの組織であつてはいけないと思う。強化、訓練などを含め、今後見直しをお願いしたい。

問 避難所の安全性と高齢者などに対する周知及び誘導は。

答 蔵座総務課長 避難所については、耐震診断の結果安全性が確保されている。避難者の誘導等については、28年度に整備を行う総合防災情報システムを有効活用し、特に高齢者・要支援者等の世帯については安全性の確保を徹底する。

Q 買い物弱者に対する移動販売の考えは

A 現状では厳しい

問 交通の便が悪く買い物などで困っている地域に対して、株式会社みずかみ等での移動販売を行う考えは。

答 中嶽村長 村長就任以来、株式会社みずかみと検討を重ねてきたが厳しいのが現実。コンビニストアとの委託業務契約についても問い合わせたが、困難であった。



その他の質問事項

○村長就任1年経過しての検証

4月28日開催 第2回臨時会

予算

○平成28年度水上村一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に600万円を追加し、総額を35億8,800万円とするものです。歳出の主なものは、平成28年熊本地震被災地支援見舞金500万円、障害者等保護(短期入所)事業委託料90万円などを追加計上しました。

その他

- 専決処分事項の承認を求めることについて（水上村税条例等の一部を改正する条例）
- 専決処分事項の承認を求めることについて（水上村国民健康保険条例の一部を改正する条例）
- 専決処分事項の承認を求めることについて（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例）
- 工事請負契約の締結について（水上村クロスカントリーコース整備工事その1）
請負金額7,938万円（丸昭建設株式会社）
- 工事請負契約の締結について（水上村クロスカントリーコース整備工事その2）
請負金額1億152万円（味岡建設株式会社）
- 工事請負契約の締結について（水上村クロスカントリーコース整備工事その3）
請負金額1億1,847万6,000円（肥後環境株式会社）

- 工事請負契約の締結について（水上村クロスカントリーコース整備工事その5）
請負金額6,912万円（宮原建設株式会社）
- 継続審査申出書

5月23日開催 第3回臨時会

- 工事請負契約の締結について（水上村総合防災情報システム整備工事）
請負金額4億1,320万8,000円（西日本電信電話株式会社熊本支店）
- 工事請負契約の締結について（村道白蔵線災害防止工事）
請負金額2億2,680万円（青木・宮田建設工事共同企業体）
- 継続審査申出書

7月11日開催 第4回臨時会

- 平成28年度水上村一般会計補正予算（第3号）

予算

歳入歳出予算の総額を36億1,180万円（現計予算組替え）とするものです。4月第2回臨時会において補正した、平成28年熊本地震被災地支援見舞金500万円のうち450万円を、平成28年熊本地震に係る被災地支援委託料に現計予算の組替えを行うものです。熊本県との協議を重ねた結果、県が仮設住宅敷地内に建設予定の「みんなの家」に形に残る支援として村内の杉材等を利用したテーブル、ベンチを提供するための作成委託料です。

その他

- 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書
- 平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書
- 行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書
- 継続審査申出書

編集後記

熊本地震から3ヶ月が過ぎた。余震が収まらぬ中での梅雨入り、そして大雨。被災地の方々の心中を察すると心が痛む。さらに追い打ちをかけるように「今年の夏はかつて経験したことのないような暑い夏になる」との情報も伝えられている。夏休みを利用してのボランティアを考えている人たちにも少なからず影響するのではないだろうか。熊本の復興にはまだまだ時間もお金もかかる。これから被害の少なかった水上村にできること、村民が個々にできることを無理せずにやっていきましよう。

「熊本の心はひとつ」
荒嶺 晋



広報特別委員会
委員長 荒嶺 晋
副委員長 米本 宗徳
委員 米良 哲
山崎 隆浩